

## はしかにならない! はしかにさせない!

国では2012年までに麻疹を排除することを目標に、本格的に取り組んでいます。

昨年、多くの高校生や大学生が麻疹に感染し、学校が休校になるということがありました。今まで、子どもの病気と思われていましたが、20歳前後の若者での発生が目立ちました。今年に入ってから、すでに多くの方が感染しているという報告があります。

麻疹は、麻疹ウイルスによって起こる感染症です。症状はウイルスの感染後、10～12日間の潜伏期間の後、高熱や咳、鼻水、発疹、結膜炎症状がでて、回復までに時間のかかる重症の病気です。合併症は、肺炎(6%)、脳炎(0.1%)と高い確率でおこり、後遺症を残したり、死に至ることもあります。

感染力が非常に強く、感染している人と同じ部屋にいた場合、免疫を持たない人はほぼ100%感染します。発疹などの症状がでる前の最も感染力が強い時期に、感染したことに気がつかずに行動すること

で、感染を広げてしまうのです。市販のマスクでは予防はできません。



麻疹に対する治療法はありません。しかしワクチンを接種することで予防は可能です。

予防接種は、平成18年4月から、麻しん・風しん混合ワクチンとなり、2回接種となりました。これは、1回接種で免疫がつかなかった方(約5%)に免疫をつけることと、1回目ですいた免疫を強めるという目的があります。そして、今年度から5年間の期限付きで中学校1年、高校3年相当の年齢の方に、混合ワクチンの予防接種が追加されます。はしかゼロに向けて、一人ひとりが理解し取り組んでいかなければなりません。

(健康福祉課 保健師)

## 同所新田遺跡(小福田地区)の発掘調査について

同所新田遺跡は利根川から西へ約400m離れた、五霞町小福田地区に位置しています。現在の利根川の流路は、江戸幕府による河川の付け替え後のもので、それ以前は現在の古利根川や権現堂川付近を流れていました。河川による物資輸送が経済の大きな位置を占める江戸時代において、河川の整備は水害対策とあわせて重要な課題の一つでした。当時関宿藩領だった五霞町周辺は水利に恵まれ、流通路の中継点として発展したようです。

県教育財団による今回の調査では、約2,800㎡を調査し、近世を中心とした遺構や遺物が数多く確認されました。特に製鉄に関連すると推定される炉や廃棄土杭、井戸跡などが確認でき、同財団は「県内で初めての出土ではないか。何に使われたかは今のところ不明だ」ということです。

昨年度の調査成果もふまえると江戸時代後半期における鉄生産の様子を総合的に推定することができそうです。

発掘は首都圏中央連絡自動車道(圏央道)建設に伴うもので、3年間の調査で昨年末に終了し埋め戻されました。



同所新田遺跡の製鉄関連遺構

### お待ちしております

ご意見・ご要望をお待ちしています。  
あて先 町長(直通)  
☎(84)1550  
企画財政課広報担当  
☎(84)1111(内線223)

### 4月の納税

納期限: 4月30日(水)

固定資産税 1期 町民税務課 税務グループ 内線251  
国民健康保険税 随時 町民税務課 町民グループ 内線300  
介護保険料 随時 健康福祉課 高齢者支援グループ 内線239  
介護保険料の納期限は5月1日(木)です。  
納付に便利な口座振替をご利用ください

### 人口と世帯 (3月1日現在)

総人口 9,808人(-17)  
男 4,950人(-3)  
女 4,858人(-14)  
世帯数 3,014世帯(+3)  
( )内は前月比